

プログラム

- 13:30 開場（受付）
14:00 開会挨拶 / 共催者挨拶 / 来賓挨拶
14:20 趣旨説明
14:30 基調講演
 テーマ：日本長寿企業の世界的意義
 船橋 晴雄（一般社団法人 100 年経営研究機構 最高顧問）
15:30 パネルディスカッション
 テーマ：書物を通じた「商人道」の継承と実践
 川本 恭治（城南信用金庫 相談役）
 辻 晴芳（公益財団法人岡田文化財団 理事）
 湯浅 邦弘（大阪大学 名誉教授）
16:45 学びの振り返り
16:55 閉会挨拶
17:00 集合写真撮影・閉会 <18 時よりフレックスホテルにて懇親会>

100年経営研究機構のご紹介

一般社団法人100年経営研究機構は、「100年経営を科学する」をコンセプトに、創業100年を超える長寿企業が実践してきた長寿経営を科学し、持続可能な経営に資する原理原則や叡知の探求と永続経営の普及啓発を行うことを目的に2015年に設立されました。国内の長寿企業に関するデータアーカイブの運営、100年経営研究会や視察ツアーの開催を通じた調査研究と活動報告会、各種講演などを通じた情報発信を通じた普及啓発を行っています。会員の皆様を中心にこれらの活動にご参加頂き、100 年経営を科学する同志とともに活動を推進しています。



登壇者のご紹介



一般社団法人100年経営研究機構 最高顧問
シリウス・インスティテュート株式会社 代表取締役
船橋 晴雄

1946年、東京都生まれ。東京大学法学部卒。大蔵省入省後、副財務官、国税庁次長、国土交通審議官などを歴任。2003年、シリウス・インスティテュート株式会社を設立し代表取締役に就任。企業倫理・経済思想などをテーマにシンクタンク活動を行う。著書に『新日本永代蔵—企業永続の法則』（日経BP社）等



城南信用金庫 相談役
川本 恭治 氏

1962年、和歌山県生まれ。1985年、明治大学法学部卒業後、城南信用金庫に入職。経堂支店長、蒲田支店長、本部部長などを歴任し、2019年に理事長に就任。2023年、福島県しゃくなげ大使に就任。2024年より現職。



公益財団法人岡田文化財団 理事
辻 晴芳 氏

1955年生まれ。1978年、ジャスコ株式会社（現イオン株式会社）に入社。コーポレート・ブランディング部長、戦略部長などを歴任し、2007年に株式会社イオンイーハート代表取締役社長に就任。その後イオン株式会社執行役、イオンリテール株式会社取締役専務執行役員、イオンペット株式会社代表取締役社長などを歴任。2021年より現職。



立命館大学 教授
大阪大学 名誉教授
湯浅 邦弘 氏

1957年、島根県生まれ。大阪大学大学院修了。一般財団法人懷徳堂記念会 学術文化専門委員。専門は中国思想史および懷徳堂研究。『増補改訂版 懷徳堂事典』をはじめ、懷徳堂に関する著書を多数執筆。2025年より立命館大学教授。

100年経営研究機構では、世界から注目される長寿企業の経営を共に学び、100年経営を科学する同志を募集しています。

会員制度の概要・お申し込みはこちらから

お問い合わせ

TEL : 03-6416-5789
MAIL : info@100-keiei.org
HP : https://100-keiei.org/



「第2回商人道サミット」は、以下の企業等に協賛いただき開催いたします。



第2回 商人道サミット

2026年5月23日（土）

松阪市産業振興センター 3階
研修ホール

共催

松阪市

一般社団法人100年経営研究機構

商人道サミットとは

100年経営研究機構は、2015年の設立以来「100年経営を科学する」をコンセプトに、日本の長寿企業に関する調査研究活動を通じて新しい経営のスタンダードを世界に発信することを目的に活動してきました。社会の持続可能性が求められるなか、企業には多くの役割が期待されていますが、ひとり一人の意識と行動の変化も、同じように求められています。そんななか、日本は世界で一番100年以上続く企業が多い、長寿企業大国として世界から注目されています。長く続く経営を可能にした考え方と行動の背景には、日本の「商人道」があります。そこで、「商人道」の現代的意義について皆さんと一緒に理解を深める機会として「商人道サミット」を開催する運びとなりました。

今回第2回を迎える商人道サミットのテーマは、「企業経営の持続性と人材育成」です。書物や口伝で家訓や社訓を継承している長寿企業は、全体の7割を超えるという調査結果があります。100年以上続く企業が日本に多く存在する背景のひとつには、このように世代を超えて「理念」が受け継がれ、経営判断の判断基準として活用されてきていることが挙げられます。また、開催地である松阪は、江戸時代に「伊勢商人」を数多く輩出した商業都市です。伊勢商人は、近江商人・大阪商人とともに「日本の三大商人」と称され、その商人道の精神は現代の企業経営にも受け継がれています。

本サミットでは、基調講演や事例紹介、専門家によるパネルディスカッションを通じて、企業の持続性に対する理念の重要性と、理念を活用した人材育成という観点から、商人道の現代的な価値を探ります。

松阪市長のご挨拶



松阪市長 竹上 真人

本日、「第2回 商人道サミット in 松阪」を、ここ松阪市において開催できますことを心より光榮に存じます。

「豪商のまち」として知られる本市で本サミットを執り行うことは、先人たちが築き上げた伝統を次世代へと繋ぐ大きな一歩であり、市民を代表して皆様を心より歓迎いたします。また、共催者として共に本会を形作っていただいた一般社団法人100年経営研究機構の皆様をはじめ、開催にご尽力賜りました関係各位に深く敬意と感謝を申し上げます。

今回のテーマ「企業経営の持続性と人材育成」は、変化の激しい現代において、私たちが歴史から学ぶべき極めて重要な指針です。伊勢商人の「三方よし」の精神が息づくこの地での議論が、皆様にとって新たな気づきと、持続可能な未来を切り拓く実り多き機会となることを切に願っております。

日本長寿企業の世界的意義



一般社団法人100年経営研究機構 最高顧問 シリウス・インスティテュート株式会社 代表取締役

船橋 晴雄

日本にはなぜ長寿企業が多いのでしょうか。その理由を考えていくと、日本の長寿企業こそ、今日よく唱えられている持続可能な世界に最も適合した企業であり、世界中の企業が見習うべき規範であると言えるのではないのでしょうか。今回はこのことについてお話しし、みなさまと共に考えてみたいと思います。

私は長寿企業の訪問記を20年ほど前に上梓しており、世界各地で、日本の長寿企業について講演を重ねてきました。あるところでは、「これまでビジネススクールで学んできた企業の在り方とは全く違う企業づくりがありうることに気づいた」というご意見を頂きましたが、またあるところでは、「企業が長く続くことに何の意味があるのだ。企業は利益の追求をその使命としており、それ以外を考える必要はない。そうしてこそ、より効率的で公正な社会の実現に繋がるのだ」というご批判も頂戴しました。特に後者の意見の背景に、いわゆる株主主権主義、市場原理主義、新自由主義といったドグマが見えていますが、これらこそ今日の、地球温暖化を加速し、貧富の格差を拡大し、社会の安定安寧を損ねてきたのではないのでしょうか。

これからの世界は日本の長寿企業をモデルとして、人類自体の長寿を計っていかねればなりません。それが我々の責務です。

パネルディスカッションの概要

▶ テーマ：書物を通じた「商人道」の継承と実践

パネルディスカッションでは、「城南信用金庫」と「イオン株式会社」という2社の長寿企業に着目し、書物を通じた「商人道」の継承と実践について議論します。

城南信用金庫は、創業124年、設立81年の信用金庫です。城南信用金庫の中興の祖で、第3代理事長の小原鐵五郎は、信用金庫という仕組みを社会に残すことにも尽力した方で、その考え方は「小原鐵学」として現在も大切に継承されています。

イオン株式会社は、創業268年、株式会社になって100年の長寿企業です。誰もが知るグローバルカンパニーへと成長する基盤を作ったのは、岡田家の6代目 岡田惣右衛門の次女 小嶋千鶴子であるとされます。彼女はその経験と考え方を後進に伝えるとともに書物を残し、その哲学は今も継承されています。

▶ 着目する長寿企業の概要



－ 企業概要 －

創 業	1902年（明治35年）
設 立	1945年（明治20年）
会 員	257,125名
従 業 員	1,974名
店 舗	86
営業地域	東京都および神奈川県の一部
本 店	東京都品川区西五反田7-2-3
預 金	4兆 216億円
貸 出	2兆3,501億円（2024年3月末日現在）

－ 沿革 －

1902年（明治35年）	「入新井信用組合」が発足。
1945年（昭和20年）	東京都南部の城南地区にあった15の信用組合が合併して「城南信用組合」が発足。
1951年（昭和26年）	信用金庫法の施行に伴い、「城南信用金庫」に改組。

▶ 紹介する書籍と著者

「信金の神様」の教え：今よみがえる「小原鐵学」～



出版年：2022年
価 格：1,540円
※ 1987年に発刊された『この道、わが道』の復刻版。

著 者

おばら てつごろう
小原 鐵五郎

1899年（明治32年）生まれ
1919年（大正8年）大崎信用組合に設立時に入社
1945年（昭和20年）城南信用組合 専務理事就任
1951年（昭和26年）城南信用金庫に改組
1956年（昭和31年）城南信用金庫 第3代理事長就任
1963年（昭和38年）全国信用金庫連合会 会長就任
1966年（昭和41年）全国信用金庫協会 会長就任
1987年（昭和62年）勲一等瑞宝章を受章
1989年（平成元年）永眠



“貸すも親切、
貸さぬも親切”



－ 企業概要 －

創 業	1758年（宝暦8年）
株式会社化	1926年（大正15年）
グループ	約300社
売 上	10兆7,000億円
従 業 員	約62万名
店 舗	約18,000
営業地域	アジア14各国
本 店	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
創業の地	三重県四日市市

－ 沿革 －

1758年（宝暦8年）	初代 岡田惣左衛門が三重県四日市で「篠原屋」を創業。
1887年（明治20年）	5代目 岡田惣右衛門が屋号を「岡田屋」に。
1926年（大正15年）	6代目 岡田惣右衛門が「株式会社岡田屋呉服店」に改組。
1959年（昭和34年）	「株式会社岡田屋」に社名変更。
1970年（昭和45年）	4社を合併し「ジャスコ株式会社」に社名変更。
2001年（平成13年）	「イオン株式会社」に社名変更。

あしあと



出版年：1997年
価 格：非売品
※ ただし、三重県菟野町にあるパラミタミュージアムにて1人1冊限定で購入できます。

著 者

こじま ちづ こ
小嶋 千鶴子

1916年（大正5年）生まれ
1939年（昭和14年）㈱岡田屋呉服店 代表取締役
1954年（昭和29年）㈱岡田屋呉服店 監査役
1959年（昭和34年）㈱岡田屋 取締役
1970年（昭和45年）㈱ジャスコ 取締役
1981年（昭和56年）同 相談役
1988年（昭和63年）同 名誉顧問
2003年（平成15年）パラミタミュージアムを設立
2022年（令和4年）永眠



“教育は最大の福祉”